

「昭和 100 年をモノから考える

～稀代の収集家・油谷満夫氏コレクションから」

西村 修(秋田ケーブルテレビ)

プロローグ 旧松倉家住宅「懐かしの”昭和の居間”」展

1.油谷満夫という稀代の収集家

- ・ 60 余年のコレクションは「50 万点」
- ・ ドキュメンタリー番組「物の声を聴け」

2.「ガラクタ」の価値

- ・ 失われていく「モノ」に見出した価値
- ・ 「庶民の暮らし」にこだわる

3. 「秋田の地域文化資源」としての「モノ」

- ・ 「庶民の暮らし」にかかわるコレクション～深山・里山、農漁村の民具
- ・ 歴史的に貴重な資料～平野政吉と藤田嗣治、秋田のメディア事始め、佐竹家の

資料、北前船と秋田…など

4. 膨大な収集物の前途に漂う暗雲

- ・ 個人の収集を国や自治体、美術館・博物館がどう支えられるのか
- ・ 地域文化資源としてのコレクション～「残すべき"文化"」とは何か